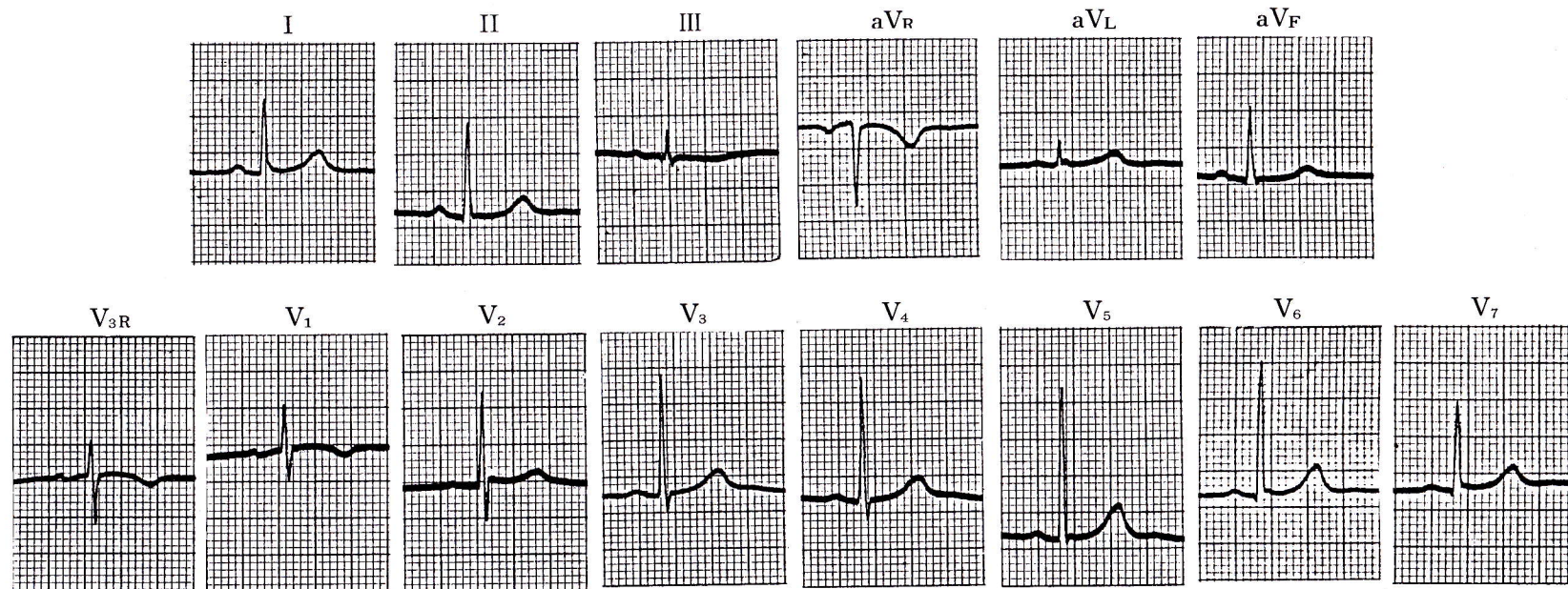


症例 9

● 22歳 女

● 蛋白尿精査のため来院.



1) V_1 のR/Sが1より大であるが右室肥大か.

症例9

正常（反時計方向回転）

心電図診断

V₁に高いR波を認めR/S>1だが、V₁から左へ向かうにしたがって、R/Sが大きくなる。移行帯はV₁の右側にあり、反時計方向回転である。V₁の高いR波とR/S>1は右室肥大でも認められる所見であるが、本症例では、前額面QRS

電気軸は正常で、V₅、V₆にも深いS波を認めない。V₂からV₇まで軽度のST上昇がみられるが、下に凸であり正常のST上昇である。このような右側胸部誘導のST上昇は、反時計方向回転ではよくみられる。

MEMO

〈胸部誘導のR波とS波の大きさ〉

